


# 政務調査研究視察 報告書

平成22年11月10日提出

|   |                        |
|---|------------------------|
| 視 察 日   | 平成22年10月28日(木)～29日(金)  |
| 視 察 先   | 東京都港区                  |
| 視 察 内 容   | 港資源化センター等の再編整備基本計画について |
| 視 察 者   | 新海正春                   |
| <p>&lt;港資源化センター等の再編整備基本計画について&gt;</p> <p>1、港区は東京湾を擁し、西北は武蔵野台地の末端の高台、東南は東京湾に面した低い沖積層地と埋立地である。区人口の約1割、約2万2千人の外国人が居住し、75の外国大使館が立地し、国際色豊かな区である。また、定住促進や臨海再開発などで住宅開発が加速し、子育て世代も急増している。</p> <p>2、港資源化センター等の再編整備基本計画の概要について<br/>                 港区は平成20年10月から、ごみの分別方法を変更しリサイクルコストの削減等を図っている。<br/>                 内容としては、ごみの一層の資源化を図るために、容器包装プラスチックだけでなく、ハンガーや洗面器等の「製品プラスチック」も含め、「資源プラスチック」として、回収し、リサイクルしている。<br/>                 尚、昭和電工でケミカルリサイクルするため、製品プラスチックに付いている金属や汚れは問題にならないとのこと。<br/>                 また、新規のプラスチック処理施設の許可は難しいとのこと。<br/>                 「製品プラスチック」回収により、不燃ゴミが約80パーセントも減少し、資源(古紙、びん、缶、ペットボトル、資源プラスチック)が25%増加した。<br/>                 ただし、資源プラスチックの中間処理(異物除去、圧縮梱包)を区外(足立区、大田区)の民間業者に委託しているため、運搬費や処理委託費などに多くの費用がかかっていた。<br/>                 そこで、プラスチックリサイクルのコスト削減とより一層の効率的な運営を行うため、「港資源化センター等の再編整備基本計画」を策定し、「港資源化センター」で資源プラスチックの中間処理を行うことにした。「資源化センター」で実施していた古紙の中間処理を止めて、古紙問屋の直接回収に変更した。本計画による施設整備費は約3億1000万円必要であるが、計画実施により、年間2億9000万円の削減が可能になり、15年間で30億円削減できる。</p>  <p>3、スケジュール<br/>                 平成22年度<br/>                 ①廃棄物の処理及び再利用に関する条例一部改正<br/>                 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、生活環境影響評価の結果縦覧手続き<br/>                 ②交通・環境等対策特別委員会への報告<br/>                 (5月)基本計画 (7月)生活環境影響調査の結果・縦覧の実施 (10月)縦覧結果<br/>                 (12月)工事請負業者の選定方法<br/>                 ③基本計画についての近隣説明会(5月)<br/>                 平成23年度 工事請負契約を実施<br/>                 平成24年度 供用開始</p> |                        |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>&lt;追記&gt; 港区は「港区3R推進行動会議」をごみ減量に熱心な区民・事業者と区が参加し、環境ジャーナリストであり、環境カウンセラーの崎田裕子氏を座長にして、立上げ、活動している。そして、各種イベントや講習会を開催して、「みんなの行動」に結びつくように推進しているし、「みんなと3R」を一緒に進める3Rサポーターを募集して、組織の充実も図っている。</p>  |
|  | <p><b>「感想・岡崎市への反映」</b></p> <p>岡崎市も新一般廃棄物中間処理施設の本格稼動を迎え、不燃ごみの製品プラスチックの分別を見直し、可燃ごみに変更する予定になっていますが、</p> <p>港区は全国に先駆けて、製品プラスチックを資源として回収し、リサイクルする取組を始めるなど、積極的な経費削減と埋立ごみ低減を図っています。</p> <p>港区は再商品化（ケミカルリサイクル）する施設が近隣にあることなどの有利な条件も有りますが、民間事業者の中間処理施設の取込みなどの思い切った取組みをしており、大変参考になりました。</p> <p>本市でも、ごみを資源と考えて、様々な視点からの検討を実施し、リデュース、リユース、リサイクルをより一層推進することが必要と考えます。</p> |